

2024年度 北見縣高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	宗教	1年	1単位	教科書	なし	副教材等	新約聖書	履修対象・ 使用教室等	一斉各自教室
教科・ 科目の 目標	(1) 聖書や祈り、藤の建学の理念、宗教行事を実際に体験・紹介しながらキリスト教に対する知識や理解を深める。 (2) カトリック教会を訪問し、キリスト教宣教のために生涯を捧げた修道者に会い、キリスト教の精神について学ぶ。 (3) キリスト教の愛について知り、人間としてよりよく生きるにはどうしたらいいかを考える。								
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	年に数回、小テストを行います。その点数で評価します。授業の内容を正しく理解しているかを問う問題を出題します。授業で話したこと、プリントに記載されたこと以外は出ませんので、満点目指して学習に取り組みましょう。	年に数回、レポートを行います。お題に関して自分の意見を書いているか(分量)、自分の課題と向き合いながら書いているか(内容)を総合的に見て評価します。また、DVDを鑑賞した際に出た課題に取り組んだ様子を評価します。			授業態度・全ての提出物の提出率で評価します。(ファイル・プリントなど、完璧のものしか受け付けませんので、提出率がそのまま評価になります)ですので、あまりにも欠席が多いと評価も下がるので、気をつけてください。授業に欠席した場合も、プリントは机の中に入れておくので、いつ提出を求められてもいように友達に見せてもらうなどして準備しておきましょう。				
評価 方法	*単元などの授業内容のまとめごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 *単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	小テスト	4回			100%				
	リアクションペーパー	6回					30%		
	レポート	3回				70%	30%		
	ファイル	2回					20%		
	授業態度	毎回授業時に					20%		
	DVD感想用紙	3回				30%			
	〔観点別配分%〕			〔3観点の比重を%で示しています〕					
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名	配当 時間 (計画)	学習内容・目標 (到達点) など			主な評価資料		評価の重み付け(◎○)	
4 5	オリエンテーション 建学の理念 祈り 聖書の引き方	7	・聖書の引き方を理解する ・十字の切り方を身につける ・自分と向き合い、それを文章にすることができる			リアクションペーパー			○
	レポート				○	○			
	小テスト				○				
6 7	ロザリオ レポート 聖書テスト	7	・日本人の宗教観を理解する ・ロザリオについて理解し、実際に制作する			リアクションペーパー			○
	レポート				○	○			
	聖書テスト				○				
8 9	主の祈りテスト 死生観 小テスト	4	・日本人・カトリック教会の死生観について理解する			リアクションペーパー			○
	主の祈りテスト				○				
	小テスト				○				
	ファイル点検					○			
10 11	ミサ クリスマス関連 DVD 小テスト	6	・追悼ミサに向けてミサに関する知識をもつ ・クリスマスに向けて、クリスマスの本来の意味を知る			リアクションペーパー			○
	小テスト				○				
	DVD感想用紙					○			
12 1	クリスマスカード 神道 アヴェ・マリアの祈りテスト	4	・クリスマスカード制作 ・日本人ならではの行事から、神道について学ぶ			リアクションペーパー			○
	クリスマスカード制作				○	○			
	アヴェ・マリア祈りテスト				○				
2 3	旧約聖書(創世記) レポート 小テスト	7	・旧約聖書について知る			リアクションペーパー			○
	レポート				○	○			
	小テスト				○				
	ファイル点検					○			
学習の アドバイス	私たちの学校はミッションスクールです。そのため「宗教科」という公立の学校にはない授業があります。「宗教」というと何か怪しいイメージを持つかもしれませんが、皆さんがこれから3年間かけて学ぶのはキリスト教の「愛」の精神です。主に授業では、イエス・キリストの生き方を通して神の愛や自分自身や周囲の人々を愛することを学びます。この授業では、受け身で学ぶだけではなく自ら率先して「考える」ことを大切にしてください。授業を通して、よりよく生きるためにはどうしたらいいかということを考えてもらえれば幸いです。								